

地域 まるごと ”子育て”推進プログラムだより

--- コミュニティ・スクール通信 ---

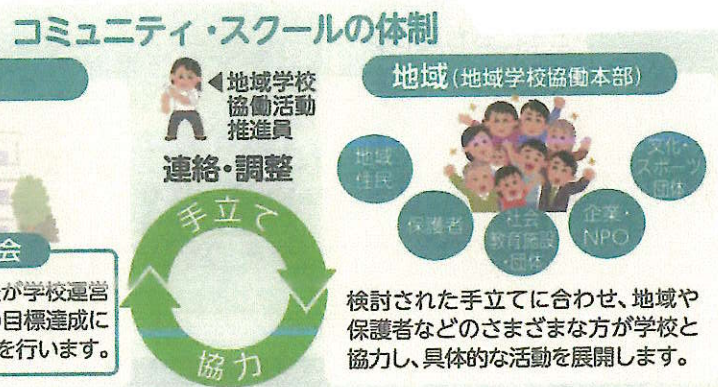
2023年 7月15日
吉川小・中学校学校運営協議会

■ 「コミュニティ・スクール」、「なに?!」

「コミュニティ・スクール」
とは、学校運営協議会を
設置している学校のこと
をさします。

「地域」+「保護者」+「学
校」の「三位一体」で未
来を創り、切り開く力を持
つ子供達を育てることを
目標に、4月1日(土)から始まりました。

「学校運営協議会」とは、これらを実現するため具体的な「目標・ビジョン」を一つのテーブルを
囲み、地域・保護者・学校と話し合い共有し、その達成に向けた手立てを検討し作る場です。
検討された手立てに合わせ、地域や保護者と学校が協力し具体的な活動を展開していきます。



1. 学校運営協議会発足

地域・保護者などの代表者と校長(教職員)で
構成される「学校運営協議会」の第1回目が5
月16日(火)、吉川中学校で開催されました。
委員は、地域、保護者の代表10名で構成され
ます。

当日の委員会は、これら委員のほかに学校
から4名、三木市教育委員会から3名が参加
されました。



◆第1回学校運営協議会に出席された皆さん

2. 交通安全教室開催

吉川小学校では、5月25日(木)、1年生、2年生、6年生を対象に開かれました。

三木警察署からは、9人の担当の皆さんが来られ、校庭に白線で車道、歩道、交差点、横断歩道
等が描かれました。

描かれた交差点には、自動で点滅する信号機設備が設置され疑似の道路環境が作られました。
1年生、2年生は、安全な道路の歩き方、横断歩道の渡り方、交差点の信号の見方などを体感し
ました。6年生は、中学生になると自転車通学になります。



◆安全教室で交差点での渡り方



◆手信号の動作を学びました



ヘルメットの正しい
着け方や、購入時の
ポイント等も学び
ました

◆参考/6月14日付け
神戸新聞記事から

自転車用ヘルメット購入、 使用時のポイント

- 安全性を示すSGマーク
などが付いているか
- 自転車専用か
- 頭の形やサイズが合っ
ているか
- 深くかぶれているか
- あごひもとあごの間に
指1本入るか
- 一度でも頭を
打ったら買い
替える
- 保管は平置き



※道藤まさ子さんやオージーケーカブト
への取材による



安全教室にご協力を頂いた三木警察
署の皆さん

3. 小中一貫教育実践推進校の2年目がスタート

6月1日(木)吉川中学校で令和5年度第1回目の教職員による吉川中学校区小中一貫教育の推進
委員会が行われました。

吉川中学校校区は、小中一貫実践教育推進校に
2022年度に指定されました。

本推進委員会には、3つの「部会」を設け、令和5
年度は、「コミュニティ・スクールとともに実践
していく小中一貫教育」を研修テーマとして、
具体的な取組みを小・中学校共通認識のもと進
められています。



◆第一回小中一貫校教育推進委員会

4. 6月10日 人権作文発表会 ……吉川中学校



全校生徒、保護者出席のもと体育館で開催されました。
1年生から1人、2年生から2人、3年生から2人と、各学年の代表者が、「人権」というテーマで、それぞれ自ら「大事にしたい」と考えることを発表しました。
その後、「PTA人権教育講演会」が開催されました。
講師は、「石田裕之氏」。
テーマは「歌で広がるやさしさふわり～支援活動で学んだこと～」。

◆ 体育館で開かれた「人権作文発表会」



5. 吉川小学校で「オープンスクール&PTA人権講演会」が

今年度第1回目の「オープンスクール」が行われました。

前段のオープンスクールは、午前9時25分～10時10分まで授業参観。

後段の令和5年度PTA人権講演会は10時20分～12時まで体育館で開催されました。

授業は、1年生～5年生までは算数、6年生は社会と外国語の参観となりました。

それぞれモニターを有効に活用した分かり易い授業の進め方となっていました。

年を重ねるごとにICTの活用の練度が高まり、授業を進める上で有効な活用ツールとして進んでいるように見られます。

後段の「PTA人権講演会」は、体育館に場所を移し講師「関西沖縄文庫主宰『金城 馨さん』」を講師に

迎え、「沖縄人として日本人を生きる ～異和共生社会をめざして～」のテーマで行われました。

「差別は、子供には責任はない。社会が、親に責任がある。差別に気づいたら止めること。

差別は、無くすことは出来ないが減らしていくことは出来る」と訴えられていた。



♡ オープンスクール風景



♡ 金城氏の人権講演会♡ と披露されたエイサー



6. 平田オリザ氏による「コミュニケーション教室」開催 ……吉川中学校

今年度の2年生では「総合的な学習の時間」を活用し、人の行動や発言を理解しようとする態度や対話力の向上を図る取組みが行われています。

そのコミュニケーション力を高める取組みの一つとしてのイベントが、6月30日(金)午前11時50分から午後3時20分迄、昼食時間を挟んで3時間余りに渡り開催。平田オリザ氏による「演劇手法をつかったコミュニケーション力を高める」ワークショップに生徒が参加しました。

5つのグループに分かれ、「転校生がクラスにやってきた」という設定で、各グループ内で役割を決め寸劇を創作、発表し、相互で評価をしました。

大人の社会に入る年代を迎えた生徒が、様々な意見・発言を受け止めたうえでコトを進めていくため「折り合いをつける」という考え方を体感、合わせて決められた時間でコトを進め完結させる「タイムキープ」の大切さなどを平田オリザ氏の生徒達に寄り添ったサポートのもとに寸劇づくりを通して学ぶというユニークで楽しいワークショップとなりました。

*平田オリザ氏: 兵庫県立芸術文化観光専門職大学学長。日本の劇作家、演出家。劇団「青年団」主宰。



◆ 演劇手法をつかったコミュニケーションの実習

◆ トピックス

1) 吉川小学校2年生 校外活動をしました。

6月13日(火)2年生児童29人と先生3人が、スクールバスで吉川の名所「黒滝」がある「黒滝親水公園」に出かけました。

公園内の遊歩道脇にある5基の花壇(台形・丸・三角・四角形・ハート形)に夏に咲く花(マリーゴールド3種、千日紅・トレンシア等)240株を植えました。

花植えは、ボランティアグループ「『黒滝』憩いの場 づくりの会」と「まちづくり協議会」のメンバーによる植え方などのサポートを得て、楽しく一生懸命に植えました。その後、黒滝が見渡せる高台に移動し石段にすわり、昔から伝わる黒滝の民話「万八狸とお万狐」の紙芝居を楽しみました。



♡ 花壇に花植えを



♡ 紙芝居を楽しみました



■ あとがき/「地域まるごと子育て推進プログラムだより」は吉川小・中学校で取組まれている行事や、学校運営協議会で話われた取組み、手立てなどの情報を地域のみなさんにお知らせする広報紙です。